



小学校にて避難所開設訓練・防災訓練を実施

足立地域事務所（所長 只野2等陸尉）は、平成28年6月19日、足立区立小学校にて実施された「避難所開設訓練及び防災訓練」に東方衛生隊（西田2尉以下5名）の支援を受けて参加した。

本訓練は地域住民が企画をしている訓練であり、年1回開催され、今年で19回目を迎える地域に根付いた訓練である。今回は122名の参加者が集まりそれぞれの班に分かれ応急処置、消防による煙体験及び起震車などを体験した。

当日は、天気も良く、風のさわやかな絶好の環境の下、災害時における応急処置要領の展示・説明及び体験を支援した。

参加者の防災意識は非常に高く、応急処置に参加した住民は、真剣なまなざしで隊員の説明に耳を傾け、体験では我先に実施しているのが印象的だった。

AEDの使用を体験した参加者からは「使い方がよくわかった。周りに使い方を知っている人がいなかったなので、今回聞いて良かった。」との言葉も聞いた。さらに「AEDの購入を検討したい。」という声まで会場では聞こえていた。

足立地域事務所は、今後も様々な機会を捉えて、区民の防災意識の高揚を図っていくとしている。



即応予備自衛官雇用主等の訓練見学を実施

東京地本は平成28年6月26日、即応予備自衛官雇用主等（6社12名）に対し、朝霞駐屯地における訓練見学を第31普通科連隊の協力を得て実施した。

本見学は、雇用主、現場上司等に、即応予備自衛官制度についての理解を深めていただくことを目的として実施したものである。

当日は、81mm迫撃砲等を使用した武器訓練及び陣地構築訓練を見学した。

見学後の中隊長等との意見交換会では、訓練招集間の企業側の努力、企業に勤務する即応予備自衛官の訓練に対する姿勢等、即応予備自衛官の実情について活発な意見交換がなされ、自衛隊側と企業側との認識の共有を図ることができた。

参加者からは「うちの社員の訓練を初めて見た。よく頑張っている。」「今後は、現場上司や同僚を参加させて、頑張りを見せてやりたい。」等、社員である即応予備自衛官への理解がより深まったことを示す感想を多く頂いた。

東京地本は、今後も雇用主等を対象とした訓練見学を実施するほか、海自・空自を含めた部隊見学を企画し、予備自衛官等制度の理解の促進を図っていくとしている。

